

学校評価 経年比較（R5 R4） 保護者アンケート

- 評価については以下のA～Dの4段階で回答

【評価】 A：そう思う B：大体そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない % %

- 「A」と「B」を肯定的評価と捉える。

▲肯定的な回答が70%以下の項目

		R5			R4		
		A	B	計	A	B	計
(1) 学校運営、地域との連携							
1	学校は教育目標や運営方針をわかりやすく家庭や地域に伝えている。	17	65	82	16	63	79
2	学校は保護者や地域の期待に応えようと努力している。	21	67	88	20	63	83
3	学校での子どもの様子がわかる情報が、学年便り等で提供されている。	31	62	93	32	58	90
4	学校やPTAの行事内容は概ね満足できる。(授業参観・リサイクル・保護者会 等)	21	63	84	19	67	86
5	保護者会や面談等の期間・日程・回数は適当である。	32	64	96	31	63	94
6	学校は保護者からの連絡・相談等に誠実に対応している。	42	52	94	34	61	95

- 今年度は全ての項目で肯定的評価(A+B)は80%以上の評価。そのうち、項目の半数で90%以上の評価。

- 今後も、B評価を含む肯定的評価の割合がさらに増加するように、ホームページ等を活用しながら学校からの情報発信に努めるとともに、行事の際に来校した保護者から意見を聞く。

- 引き続き保護者や地域の要望やニーズに誠実に応え、信頼される学校を目指していく。

(2) 学習について

1	教師は教え方を工夫しており、子どもの学習への取組や学力は概ね満足できる。	20	61	81	22	61	83
2	子どもは、教科の基礎・基本が概ね身についている。	18	46	64	19	51	70
3	教師は子どものニーズに合った、個に応じた指導をしている。	15	57	72	14	56	70
4	子どもの学習への取組が成果として評価に表れている。	16	55	71	22	52	74
5	子どもは家庭学習の習慣が身についている。	18	37	55	24	41	65
6	子どもは読書の習慣が身についている。	18	21	39	17	25	42

- ほとんどの項目で前年度より肯定的評価のポイントが減っている。

- 学習については、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得のため、「帰りの学習」の取組を工夫し、定着度を把握する。

- 読書週間は、毎朝10分間の読書を行っている。自宅でも習慣づけられるようにするために、学校図書館司書との連携をしていく。

- 家庭学習の項目ポイントが大きく減少した。習慣を身につけさせるため、各教科で課題を出し、学級担任や教科担任が確認する取組を徹底させる。また、家庭と連携しながら、継続的に実施できよう取り組んでいく。

(3) 生活指導・支援について

1	学校は子どもたちの「人間関係作り」に努力している。	21	61	82	21	61	82
2	子どもはいじめを許さないという意識をもっている。	46	50	96	50	43	93
3	学校・教師は子どもの悩みや相談に適切に対応している。	26	59	85	23	60	83
4	学校・教師の子どもへの生活指導(時間・言葉遣い・服装等)は適切である。	23	65	88	23	61	84
5	子どもと担任・学年職員との人間関係は良好である。	40	51	91	37	56	93
6	子どもは学校のきまりや約束を守ろうとしている。	47	49	96	49	48	97

- すべての項目で80%以上の肯定的な評価。「悩みや相談に適切に対応」「生活指導」を学校全体で意識しており、ポイント増加につながっていると考える。今後も対話や生活記録ノートを通して、生徒との良好な人間関係を築いていく。

・項目５・６では、大多数の方から肯定的評価。生徒が落ち着いて生活しているため、充実した教育活動を展開することができている。今後も生徒の自律心を育成し、安全・安心な学校づくりに取り組んでいく。

（４）部活動・行事・特別活動について

1	子どもは部活動に意欲的に参加している。	57	30	87	64	26	90
2	子どもは学校行事や旅行的行事に楽しんで参加している。	62	34	96	67	30	97
3	学校行事（体育祭や文化祭）に満足できる。	44	52	96	33	49	82
4	子どもはあいさつがよくできる。	33	49	82	33	55	88
5	子どもは道徳的な考えやマナー、ルールを守って生活している。	39	57	96	40	56	96
6	子どもは将来の夢（目標）をもち、進路を考えている。	21	43	64	23	41	64
7	キャリア教育（職場体験、あじさい祭りへの参加、人・道セミナー等）は子どもの将来に役立つ。	38	53	91	36	54	90

・ほとんどの項目で８０％を超える肯定的評価。生徒アンケートでも部活動、学校行事、旅行的行事に積極的に楽しく参加していると回答した生徒が多く見られた。

・項目３の学校行事（体育祭や文化祭）の肯定的ポイントは１０％も上昇した。昨年度の学校評価アンケートの意見を生かし、体育祭の種目数を増やしたり文化祭をコミュニティプラザで実施して保護者に自由に参観してもらったりした成果が出たと考えられる。

・項目６については、生徒の実態を把握しながら道セミナー、人セミナー、職場体験学習を含め、３年間を見通した計画的な進路指導を行うとともに、保護者にも適切な情報を提供する必要がある。

（５）家庭生活・健康・安全について

1	子どもは毎日朝食をとっている。	73	17	90	76	13	89
2	必要な用具や翌日の準備は前日に自分でやっている。	31	37	68	35	36	71
3	子どもは睡眠時間は十分とれている。	25	53	78	25	51	76
4	子どもは家庭内の約束や役割を守ろうとしている。	15	64	79	24	59	83
5	子どもは体力向上や健康に留意した生活を送っている。	23	55	78	28	57	85
6	子どもの携帯電話（スマホ）の使い方は適切であり、家庭でしっかりルールを守っている。（持たせていない家庭は回答不要）	11	47	58	14	47	61
7	通学路及び地域の安全は確保されている。	12	57	69	14	50	64

・項目２及び６については、学校と家庭が生活習慣の確立やルールづくりに向けての連携を図る必要がある。特に項目６の携帯電話（スマホ）の使い方については、情報モラル教育を継続し、来年度もPTA集会等で情報モラル講演会を実施する予定である。

・項目７については、通学路点検を教育委員会と実施し、危険箇所の改善要望を出している。今後も危険箇所の把握・改善に向けて町役場、教育委員会と連携していく。